

あべこう一 県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

総額1兆7608億円

31年度県当初予算案を検証



県議会に登壇する阿部県議

議会審議

平成31年度一般会計当初予算案は、さる2月7日に開会した2月定例県議会に提案され、14日から始まったわが党の代表質問を皮切りに、質疑ならびに一般質問が行われています。

「県民の幸せが一番」を政治信条として、県会議長や監査委員の重責を担ってきた阿部紘一(あべ・こういち)県議は、千葉市稲毛区選出。IIは、議会内でも行政の諸課題に精通した政策通として各会派を超えて信頼を得ています。常に県民・市民の目線から判断し、時には森田知事にも厳しい口調で改革を迫るなど、県政に毅然たる態度で臨んでいます。

また、阿部県議は「開かれた県議会」を提唱し、議会改革にも熱心に取り組み、県議会では最初に自らの議員報酬を公開するなど、先頭に立って県議会を牽引しています。今号では、森田知事から議会に提案のあった平成31年度一般会計当初予算案について検証し、その骨子を紹介します。

少子高齢化で社会保障費が増加

発表されていますので、執行部からわが党に示された当初予算案の概要に基づいて、そのポイントを整理しました。

予算の理念

千葉県の新年度一般会計当初予算の総額は、1兆7608億4千5百万円で、前年度と比較して319億6千4百万円の増加で、伸び率にして1.8%となりました。これは6年連続で過去最大の予算規模となり、積極予算と評価されています。

森田知事は、予算編成の基本的な考え方として、県の総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」に掲げた政策を着実に推進させ、しっかりとした成果を上げることが目的に

●教育環境の改善や介護人材の確保など、子ども・子育て世代への支援や医療・福祉の充実

歳入予算の内訳

歳入 歳入の根幹をなす県税収入ですが、まず景気回復に伴う個人所得や企業収益の増加により、個人県民税及び法人2税の増収が見込まれるほか、10月からの消費税率の引き上げに伴って、地方消費税が増加見込みであり、加えて輸入額の

療・福祉の充実
道路ネットワークの整備などの社会基盤づくり

を は じ め、「くらしの安全・安心の確立」「商工業の振興・雇用」「農林水産業の振興」「千葉の魅力発信」「文化・スポーツ・環境施策の推進」など、各分野にわたる、森田知事の掲げる「くらし満足度日本一」の実現に向けた事業について予算計上したと説明しています。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫る中、この準備のほか、近年全国各地で多発する自然災害から県民の生命・財産を守るための防災・減災対策など、喫緊の課題に対しても予算措置が図られています。これらの考え方は、わが党からの予算編成に当たっての要望がしっかりと反映された結果であることは申し上げるまでもありません。

歳出予算の内訳

億円の増額が予想され、当初予算に組み込まれました。

地方特例交付金については、本年10月からの幼児教育無償化の財源として、国からの臨時交付金約49億円を見込み、全体で約54億円の増となっています。

また、借金にあたる県債の発行は、建設地方債が前年度より増加する一方、臨時財政対策債等が減となることから、約91億円の減額となっています。

歳入

一方、歳出全体の約3割を占める教職員、警察官、県関係職員などの人件費は、平成30年度の人事委員会勧告に基づく給与改定などによる増加要因があるものの、成田空港警備隊の再編成や教職員の若返りなどの影響によって、約50億円の減額となっています。

しかし、急速な少子高齢化の進展によって、社会保障費が増加の一途をたどっています。今年10月からの幼児教育無償化の影響で約60億円の歳出増が見込まれるとともに、後期高齢者の医療給付費負担金などの増加や、保育所増に伴う運営費給付の増加も見込まれ、社会保障費全体で約163億円の増額となっています。

また、国から県へ譲与される地方譲与税は、地方財政計画などを踏まえ、特別譲与税の増額が見込まれることなどから、約64

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこう一 県事務所
〒263-0043 TEL.043-287-8595
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

阿部 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

新年度予算案の主要な事業

幼児教育無償化で費用負担へ



県職員と政策協議する阿部県議

子ども・子育て支援

県の新年度予算案から主な具体的事業概要を検証します。

子ども・子育て支援では、昨夏の猛暑から、県立高校の普通教室に空調を整備するとともに、保護者負担で設置されたエアコンのリース料を県負担に切り替え、また幼稚園が行う空調整備も補助率の引き上げと補助対象の拡充が行われます。

保育士の給与改善のための県単独補助や、処遇改善

につながるキャリアアップ研修の実施、利便性の高い場所での賃貸物件を活用した保育所の整備費及び賃借料への補助について予算が増額されます。

また、子育て世代の経済的な負担を軽減するため国の「幼児教育の無償化」に対応し、認定子ども園・保育所・私立幼稚園の無償化に要する経費の一部を県が負担します。

医療・福祉の充実

喫緊の課題である介護人材の確保対策について、新規就業やキャリア形成への支援に取り組み、外国人介護職員の就業促進に向け、新たに留学生の日本語学習費用や留学後の居住費に対する支援、メンタルサポート、受入施設に対する労働管理研修等が実施されます。

子どもの貧困対策の推進では、実態や課題を把握するための調査を実施し、また、発達障害者の支援強化のため、地域支援マネージャーが配

置されます。

地域医療を支える医師・看護師確保のため、若手医師のキャリア形成プログラムの策定と専門研修指導医の派遣を一体的に行うほか、医療機関から訪問看護ステーションへの看護師派遣への支援が新たに実施されます。

安全・安心の確立

地震等の自然災害により住宅に被害が生じた世帯に支援金を支給するため、全都道府県で連携して基金への拠出が行われます。また、多発する集中豪雨や大型台風などから県民の生命・財産を守るための河川・海岸の堤防、護岸等の整備費予算が大幅に増額されます。また、「地震被害予測シス



熊谷市長と話し合う阿部県議

テム」について、液状化被害や避難者数等の推計ができるよう、また、「千葉県津波浸水予測シテム」について、予測対象を拡大するよう、それぞれシテムの整備が行われます。



スポーツ振興で川淵元チェアマンと語る阿部県議

地域防犯力の向上のため、防犯ボックスの増設と警察署の庁舎や交番の建て替え・改修予算が増額され、警察体制の強化が図られます。

東京オリパラの推進

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成と地域活性化のため、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施。本県

で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、競技観戦や体験イベント等を通じて競技への理解を深め、障害者スポーツを広く県民に周知するための取り組みに予算配分されています。

また、障害のある人の自立と社会参加を促進するため、障害のある人や障害福祉サービス事業所の芸術文化活動を支援する支援センターが設置されます。

阿部県議の政策課題

阿部県議は、これら県の新年度予算案を受け、県政の場で引き続き議会活動を続けるのに際し、自らに政策課題を課しています。県民・市民の目線から、以下の政策を推進する決意を語っています。

●災害に強く、安全・安心な地域社会づくり

●千葉県と千葉市の連携・協力の推進

●安心して質の高い医療・福祉を受けられる体制整備

●充実した子育て支援対策の確立

●総合的な学力向上と教育環境の整備

●中小企業並びに商店街への支援の充実

●千葉県と千葉市の連携・協力の推進

あいさつ

平成27年4月、皆様の尊いご支援を頂き、県議会議員の議席をお預かりいたしました。それ以来、全力投球で県政に取り組んできた4年間でしたが、間もなく任期満了となります。この間の皆様の多大なるご指導、ご支援に心から感謝と御礼を申し上げます。

そして、これまでの県政の実態、実情をつぶさに精査し検証しましたところ、新たに喫緊の課題

が出てまいりました。

それは、いつ起こるか分からない千葉県南東沖巨大地震(平成30年6月11日政府地震調査委員会発表)に対して、県、議会を挙げて早急に万全な体制を図ること。更に安全・安心な社会を構築するためにも医療、福祉、治安、防犯対策の推進。また大切な子育て支援や就労支援の充実。徳育、知育、体育のバランスの取れた子どもたちを育む教育の推進。そして中小企業の振興などであり

ます。

私、阿部紘一はこれらの

千葉県議会議員 阿部紘一